

2023年9月15日  
株式会社三菱UFJ銀行

## オリックス不動産投資法人与「サステナビリティ・リンク・ローン」を成約

株式会社三菱UFJ銀行（取締役頭取執行役員 <sup>ほんざわ じゅんいち</sup> 半沢 淳一（以下、当行））は、オリックス不動産投資法人（執行役員 三浦 洋（以下、本投資法人））との間で、ローン・マーケット・アソシエーション<sup>①</sup>（以下、LMA）等が定めたサステナビリティ・リンク・ローン原則に即した、「サステナビリティ・リンク・ローン」によるタームローン契約（以下、本ローン）を締結いたしました。

サステナビリティ・リンク・ローン原則では、借り手のサステナビリティ目標と連携したサステナビリティ・パフォーマンスターゲット（以下、SPT）を設定し、金利などの貸付条件とSPTに対する借り手のパフォーマンスを連動させ、SPT達成への動機付けを与えることで、環境的・社会的に持続可能な経済活動および経済成長を促進し、支援することを目指します。

本ローンにおいてはSPT達成状況に応じて利率が変化します。

<p>KPI： キー・パフォーマンス・インディケータを意味し、本投資法人の保有物件におけるCO2排出量（スコープ1、スコープ2、スコープ3のカテゴリー13のうち管理権原を有する部分）</p> <p>SPT： 2025年3月31日を終了日とする1年間のKPIを、2022年3月31日を終了日とする1年間のKPI比14.0%以上削減</p>
--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

本投資法人及び資産運用会社であるオリックス・アセットマネジメント株式会社は、本投資法人の資産運用に際し、本投資法人の運用理念である投資主価値の安定的成長には、環境（Environment）・社会（Social）・ガバナンス（Governance）（以下、ESG）を考慮したサステナブルな資産運用が重要と考え、これを実践するために本資産運用会社は「ESG方針」を制定しています。当該方針にて規定した気候変動の緩和対応として2050年ネットゼロの実現を目指し、GHG排出量削減等に関する新たな目標を設定しました。また、同方針にて規定した「ステークホルダーとの協働」の対応として、金融機関等と協働してサステナブルな資金調達を推進すべく、サステナブルファイナンス指針を制定しました。これらを踏まえ、今般、本投資法人は「サステナビリティ・リンク・ファイナンスフレームワーク」（以下、同フレームワーク）を策定し、同フレームワークに基づいて本投資法人として初めてサステナビリティ・リンク・ローンによる資金調達を行うことを決定しました。

### 【本ローンの概要】

契約締結日	2023年9月15日
融資期間	7年
金額	20億円
資金用途	リファイナンス資金

また、本ローンは、株式会社日本格付研究所（JCR）より、サステナビリティ・リンク・ローン原則への準拠、設定した SPT の合理性について第三者意見を取得している同フレームワークに基づいています。

株式会社三菱 UFJ フィナンシャル・グループは、「MUFJ Way」の中で「世界が進むチカラになる。」を存在意義（パーパス）と定め、持続可能な環境・社会の実現に向けて、お客さまをはじめとする全てのステークホルダーの課題解決のための取り組みを進めています。引き続き、お客さまの ESG の取り組みを支援し持続的な成長を後押しすることで、環境・社会課題の解決に貢献してまいります。

[1] 欧州、中東、アフリカのシンジケートローン市場の流動性、効率性、透明性を改善することを目的とした協会。英国に本拠地を置き、欧州・中東を中心に 65 ヶ国以上約 800 機関が加盟。

以 上